

[中吐]mFOLFOX6+アバスチン(ヘパシスマブ)(2次10mg)療法

外科 管理番号 RSC017

処方医:

適応症:大腸癌

2週間を1クールとして投与を繰り返す

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14
アバスチン	●													
レボホリナート	●													
オキサリプラチン	●													
フルオロウラシル(ホーラス)	●													
フルオロウラシル(持続)	●	●	●											

身長: _____ cm 体重: _____ kg 体表面積 _____ m²

[投与スケジュール] (_____ クール目)

Day1(月 日 ~ 月 日)

本管		側管	
薬剤名	投与量	薬剤名	投与量
生食20mL 10mL以上のシリンジ使用 ポート開通確認	10mL		
生食100mL アバスチン 10mg/kg [投与速度注意][非炎症] インフュージョンリアクション注意	1瓶		
【内服】ポラミン錠2mg	3錠		
5%ブドウ糖 100mL デキサート注 2mL グラニセトロン注3mg [30分 点滴静注]	1瓶 9.9mg 1管		
5%ブドウ糖 500mL レボホリナート 200mg/m ² [2時間 点滴静注]	1袋	5%ブドウ糖 250mL オキサリプラチン・85mg/m ² [2時間 点滴静注][炎症性] レボホリナートの側管より同時に開始 アレルギー症状注意 数回以上 ほぼ数分以内	1袋
5%ブドウ糖 50mL フルオロウラシル注 400mg/m ² [15分間][炎症性]	1瓶		
生食100mL フルオロウラシル注2400mg/m ² [46時間][炎症性]	フルオロウラシルと生食適量を 混合し140mLとする		
生食20mL 10mL以上のシリンジ使用 ポートフラッシュ	10mL		

* 初回投与時は90分 初回の認容性が良好であれば2回目の投与は60分間で行ってもよい。
2回目の投与においても認容性が良好であれば、それ以降の投与は30分間投与することができる

DAY2(月 日)~3(月 日)

薬剤名	投与量	オキサリプラチン
デカドロン錠	8mg	[今回の投与量] [累積投与量]
[適正使用基準]		mg/body mg/body

1. 口内炎がない	オキサリプラチン: 末梢神経障害 フルオロウラシ 白血球減少・口内炎 下痢
2. 下痢がない	
3. 腸閉塞がない	
4. TS-1が投与されていないかまたは投与中止後7日以上経っている	
4. 重症感染症またはその疑いがない	
5. 機能障害を伴う重度の感覚異常又は知覚不全がない	
6. PS(Performance Status)が0~2である	
7. 生理機能が十分に保持され、下の基準を満たす。	

血液検査 一般	WBC	4000 \leq	
	Neut	1600 \leq	
	PLT	15万 \leq	
	HGB	11.0 \leq	
	GOT	\leq 40	
	GPT	\leq 35	
	TBil	\leq 1.2	
	BUN	\leq 20	
	Cr	\leq 1.1	
	Mg	1.7~2.5	
	K	3.5~5.0	
	Na	135~146	
	Ca	8.7~11	
	P	2.5~4.7	
	蛋白尿	2+で投与可	

[肝機能を考慮した投与量の調節]

TBil(mg/dL)	<5.0	5.0 \leq
フルオロウラシル	100%	中止

	最悪時の程度	オキサリプラチン 次回投与量
Neut	500<	本剤を65/m ² に減量
PLT	5万<	フルオロウラシルを20%減量
消化器系の有害事象	Grade 3以上	(300mg/m ² の静脈内急速投与及び500mg/m ² の22時間持続注)
末梢神経障害	7日未満に回復	減量せずに投与
	7日以上持続	本剤を65/m ² に減量

[DLFを除く重大な副作用]

フルオロウラシル

- ・脱水症状
- ・出血性腸炎、虚血性腸炎、壊死性腸炎
- ・ショック、アナフィラキシー様症状
- ・白質脳症
- ・うっ血性心不全、心筋梗塞、安静狭心症
- ・急性腎不全
- ・間質性肺炎
- ・肝機能障害・黄疸、肝不全
- ・消化管潰瘍
- ・急性膵炎
- ・意識障害を伴う高アンモニア血症
- ・肝・胆道障害(胆嚢炎、胆管壊死、肝実質障害等) * 肝動脈内投与時〔腹痛・発熱・黄疸等〕
- ・臭覚障害、嗅覚脱失

オキサリプラチン

- ・ショック、アナフィラキシー症状
- ・間質性肺炎、肺繊維症
- ・骨髄機能抑制
- ・溶血性尿毒症症候群
- ・視野欠損、視野障害、視神経炎、視力低下
- ・血栓塞栓症
- ・心室性不整脈、心筋梗塞
- ・肝静脈閉塞症

アバスタチン

- ・消化管穿孔(突然起こる強い腹痛)
- ・創傷治癒遅延
- ・原発巣からの出血(下血)
- ・肺転移巣からの出血(喀血)
- ・脳転移巣からの出血(突発性の意識障害、神経障害、頭痛、嘔気・嘔吐、めまい)
- ・動脈血栓(胸痛)
- ・動脈血栓(突発性の意識障害、神経症状、嘔気・嘔吐、めまい)
- ・高血圧に伴う緊(頭痛、視力障害、意識障害、悪心・嘔吐)
- ・可逆性後白室脳症症候群
- ・ネフローゼ症候群(蛋白尿)
- ・ショック、アナフィラキシー様症状
- ・好中球減少症
- ・うっ血性心不全(呼吸困難、乏尿、体重の変化)

